

荒尾市における

DX（デジタルトランスフォーメーション）の取組

【令和5年度版】

荒尾市DX推進計画アクションプランに係る取組

【令和5年度の主な事業】

- 1 デジタルデバイド対策
- 2 「おでかけあらおアプリ」ポイント機能を活用した社会参加促進
- 3 電子版あらお健康手帳
- 4 先進技術とデジタルを活用した誰もが安心して長生きできるウェルネススマートタウン事業
- 5 議会のICT化の推進
- 6 行政データの集約化と利活用促進(EBPMの推進)
- 7 外部人材の活用と庁内デジタル人材の育成

令和5年度の主な事業 その①

1

デジタルデバイド対策

中央公民館など市内各施設において、スマートフォン教室を実施します。携帯会社に講師を依頼し、スマホをお持ちでない方向けの体験会から、基礎編、応用編、活用編など幅広い内容で開催しています。

地域からの要望で、地区の公民館に出向いて開催することもあります。



実施時期

実施中

2

「おでかけあらおアプリ」ポイント機能を活用した社会参加促進

65歳以上の高齢者で、地域の介護予防教室やサロン等へ参加した方に、荒尾市観光・交通アプリ「おでかけあらお」を活用して、ポイントを付与します。一定のポイントを獲得した方から、抽選で150名にクオカード500円分を配布します。



実施時期

10月頃開始予定

令和5年度の主な事業 その②

3

電子版あらかお健康手帳

医療情報やおくすり手帳、日常健康データを一元的に管理することで、自らの健康管理に役立て、医療機関を超えた情報管理と活用をサポートします。

実施時期

2月頃供用開始予定



4

先進技術とデジタルを活用した誰もが安心して長生きできるウェルネススマートタウン事業

過去の特定健診結果をAIで分析し、将来の健康状態を予測する「NEC健診結果予測シミュレーション」や、血液中の約7,000種類のタンパク質のバランスを独自の技術で解析し、将来の疾病リスクを予測する「フォーネスビジュアス検査」を導入し、市民の皆様が健康に気づくきっかけをつくります。併せて、食事や運動・睡眠等の健康管理を行ったり、おすすめの健康行動をリコメンドしてくれるスマホアプリなどで個人の生活習慣改善を強力に支援します。

実施時期

10月(アプリ稼働)開始予定



令和5年度の主な事業 その③

5

議会のICT化の推進

議案書および公文書等のデータベース化を図るため、タブレット端末等を導入し、会議の中で実用できるよう取り組みを進めています。

必要書類の提出や市からの情報提供など迅速に行うことで、市民の代表である議員との審議の充実や効率化を図ります。

実施時期

未定



6

行政データの集約化と利活用促進(EBPMの推進)

行政が保有する様々な分野のデータを活用するため、データの集約を行います。

データを根拠にした新しい市民サービスの創出や、これまでの事業の効果検証にも役立てていきます。

今年度はシステムの導入と職員向けデータ利活用研修を実施します。

実施時期

11月頃開始予定



令和5年度の主な事業 その④

7

外部人材の活用と庁内デジタル人材の育成

デジタルの利活用を効果的に推進するため、外部の専門人材を活用します。
今年度は、総務省の地域力創造アドバイザー等にも登録されている外部専門人材に委託し、DX相談会や庁内のデジタル人材の育成研修を実施しています。

実施時期

4月開始



人にやさしい、
「全世代型のデジタル社会」
を目指しているよ!!

